

あなたも使っている!?

ネイティブが**誤解**する!

# 言っ**て**はいけない NG英語

英語で無難に返事をしたり、感想を述べたり、意見を伝えたりしただけのつもりなのに、ネイティブが「意外な反応」を示したという経験はないだろうか。実は、辞書などを頼りにそのまま直訳してしまうと、思わぬ「ニュアンスの違い」という落とし穴にハマってしまうことがある。例えば、「私はお酒に弱い」や「スタッフが2人いる」はどう言うだろうか。今回は日本人が間違っ**て**使いがちな、「NG表現」を危険度別に紹介する。

執筆：EE編集部



まずは、致命的ではないものの、ちょっと恥ずかしい思いをしてしまいそうな間違いから見ていこう。

## 1 「そう思います」

### NG 会話

A: Is this really the right move to close this deal?

B: I think so.

A: You mean you're not sure? This is no time to be indecisive.

A: 「この契約を結ぶのに、これが本当に正しい手なのだろうか」

B: 「じゃないですかねえ」 A: 「つまり、よくわからないということ？ 迷っている場合じゃないよ」

**解説** I think so. は、ときとして「歯切れの悪い感じ」になってしまうことがある。そのため、はっきりと「そう思います」と伝えるには、「それこそが、私の考えていることです」という意味の That's what I think. を使おう。

### OK 会話

33

A: Is this really the right move to close this deal?

B: That's what I think.

A: Great. Then let's go for it.

A: 「この契約を結ぶのに、これが本当に正しい手なのだろうか」

B: 「私はそう思います」 A: 「よし。じゃあ、やってみようか」

## 2 「どう思いますか？」

### NG 会話

A: How do you think about this song?

B: How? Well, that's a strange question. With my brain, I guess.

A: 「この曲について、どのようにして考えるの？」 B: 「どのようにして？ うーん、変なことを聞くね。脳を使って、かなあ」

**解説** 「どう思いますか？」は、基本的に What do you think about/of...? または How do feel about...? を用いる。疑問詞と動詞の組み合わせを間違えないようにしましょう。How do you think about/of...? では、「どのような方法で考えるのか」という、不思議な意味になってしまう。

### OK 会話

A: What do you think about this song?

B: It's really catchy. I love the groove, especially the drums.

A: 「この曲、どう思う？」 B: 「とてもキャッチーだね。グルーヴ感が大好きだよ、特にドラムがいいね」

## 3 「好きじゃない／嫌い」

### NG 会話

A: I'm thinking I'll make us some pork chops for dinner.

B: I hate pork.

A: Well, fine. I guess I'll have to make something else.

A: 「夕食にポークチョップを作ろうかしら」 B: 「豚肉はやだ」

A: 「あっそう。他に何か違うものを作るしかないわね」

**解説** hate を使うと「豚肉はイヤ!」のような、ぶっきらぼうな、あるいは子どもっぽいやつぎになってしまうので注意。「嫌い」ではなく、「好まない」と言い換え、以下のように表現してみよう。

### OK 会話

A: I'm thinking I'll make us some pork chops for dinner.

B: Actually, I don't much care for pork.

A: Oh, OK. How about roast chicken?

A: 「夕食にポークチョップを作ろうかしら」 B: 「実は豚肉はあまり好きじゃないんだ」 A: 「了解。じゃあローストチキンは？」

## 4 「ここで何をしているの？」

### NG 会話

A: What are you doing here?

B: I can go wherever I like—I don't need your permission.

A: 「ここで何をしているの？」 B: 「どこに行こうが私の勝手ですよ？ あなたの許可は必要ないわ」

**解説** 実はこの表現は、「あなたはここで一体何をしているんだ」と問い詰めるニュアンスになる。こんなときは、具体的な場所をつけて、What brings you to...? または、Are you here on business? などのように言うのが自然。

### OK 会話

34

A: What brings you to Shibuya today?

B: I'm going to see a movie.

A: Really? Which one?

A: 「今日は何で渋谷にいるの?」 B: 「映画を見に来たの」 A: 「そうなんだ? 何を見るの?」

## 5 「家に帰った」

### NG 会話

A: How late did you work last night?

B: I went home at 8:00.

A: Wow. That's quite a lot of overtime.

A: 「昨日はどのくらい遅くまで働いたの?」 B: 「8時に家に向かったよ」 A: 「へえ。それはかなり残業したんだね」

**解説** go home は「帰宅する」ではなく、「家に向かう」という意味である。そのため、I went home at 8:00. では、「何時に帰宅したか」は明示されていない。「帰宅する」は以下のように get home を使うのが正しい。

### OK 会話

A: How late did you work last night?

B: I got home at 8:00.

A: Oh, OK, so you must've left around the same time I did.

A: 「昨日はどのくらい遅くまで働いたの?」 B: 「8時に家に帰ったよ」 A: 「そうなんだ。じゃあ、私と同じくらいに退社したんだね」

## 6 「スタッフが2人いる」

### NG 会話

A: I'm looking to rent some office space.

B: I see. How big is your company?

A: I have two staffs.

B: You mean you need space for two separate companies?

A: 「事務所スペースを借りたいんですが」 B: 「そうですね。会社はどのくらいの規模ですか」 A: 「スタッフ・チームが二つあります」 B: 「二つの別々の会社のスペースが必要だということですか」

**解説** staff は、社員や職員を集合的に表す名詞。I have a staff of two. や I have two employees. と言おう。

### OK 会話

A: I'm looking to rent some office space.

B: I see. How big is your company?

A: I have two employees.

A: 「事務所スペースを借りたいんですが」 B: 「そうですね。会社はどのくらいの規模ですか」 A: 「スタッフが2人います」

## 7 「オープンカフェ」

### NG 会話

A: It's so nice out today.

B: Yeah. We should go and relax in an open café.

A: Well, we can hardly go to a closed one, can we?

A: 「今日は天気がいいね」 B: 「うん。開店しているカフェに行ってリラックスしましょうよ」 A: 「えっと、閉まっているカフェには行けないもんだよね」

**解説** open café は和製英語で、無理に解釈すれば「開店しているカフェ」という意味になる。日本語の「オープンカフェ」に相当する英語は an outdoor café である。なお、日本語とは違って、特に「おしゃれ」というイメージはなく、単に「屋外にあるカフェ」という意味になる。

### OK 会話

A: It's so nice out today.

B: Yeah. We should go and relax in an outdoor café.

A: Sounds good. There's one on the riverside.

A: 「今日は天気がいいね」 B: 「うん。オープンカフェに行ってリラックスしましょうよ」 A: 「いいね。川沿いに1軒あるね」

### コラム① 発音にも注意

カタカナで書くと「同じ」になってしまう単語同士にも注意しよう。発音を間違えると、意味が変わってしまうからだ。

▶ 「フリーマーケット」 公園などで、不用品の売買・交換を行う市のことを「フリーマーケット、のみの市」と言うが、free market と発音すると、経済用語の「自由市場」という意味になってしまう。flea market とちゃんと発音しよう。

▶ 「ラブ」 rub「こする」と love「愛する」が混同されるとおかしなことになる。I rub you. では「私はあなたをこする、マッサージする」という意味に取られてしまう可能性もある。